

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 269 号	氏名	田場 充
学位審査委員	主 査	高村 昇	
	副 査	下川 功	
	副 査	田口 尚	
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 本研究は、大腸がん発生における hyperplastic polyp (HP) - serrated adenoma (SA) - adenocarcinoma (AC) sequence において腫瘍増殖因子 VEGF ならびに VEGF 受容体 1, 2 の関連の検討を病理学的に行ったものであり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価 HP、SA、AC 計 64 例を用いて VEGF、VEGF 受容体 1 及び VEGF 受容体 2 の発現を免疫組織化学によって解析し、その結果を統計学的に検討したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、HP では VEGF ならびに VEGF 受容体 1、2 の発現頻度が極めて低かったのに対して、SA、AC ではこれらの発現が高頻度に認められた。一方、HP と SA において、間質の血管数に関して比較を行ったが、明らかな相違は認められなかった。以上の結果は、VEGF が血管増殖因子としてよりもむしろ腫瘍増殖因子として HP- SA- AC sequence、特に Serrated adenoma の発生に何らかの役割を果たすことを示唆する意義深い研究である。</p>			
<p>以上のように本研究は、Hyperplastic polyp の悪性化の過程を解明する一端となるものであると考えられ、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			